

## 浮遊粒子状物質 (SPM)

### (1) 一般局

表 1 に示すとおり一般局の北部、西南部、小立野局の 3 測定局全てで長期的評価及び短期的評価による環境基準を達成した。

年平均値は、図 1 に示すとおり過去 10 年間に於いて減少傾向にある。また、全国平均と比較すると低い結果となった。

表 1 一般局における浮遊粒子状物質の年間測定結果

測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 日平均値 の年間 2 % 除外値	1 日平均値 の最高値	1 時間値 の最高値	
	(日)	(時間)	(mg/m <sup>3</sup> )	(mg/m <sup>3</sup> )	(mg/m <sup>3</sup> )	(mg/m <sup>3</sup> )	
北部	362	8713	0.009	0.025	0.048	0.105	
西南部	362	8709	0.010	0.025	0.035	0.071	
小立野	299	7218	0.010	0.022	0.031	0.049	
本市平均			0.010	0.024			
全国平均 (R04)			0.013				
環境基準						0.10 以下 (長期)	0.10 以下 (短期)
						0.20 以下 (短期)	

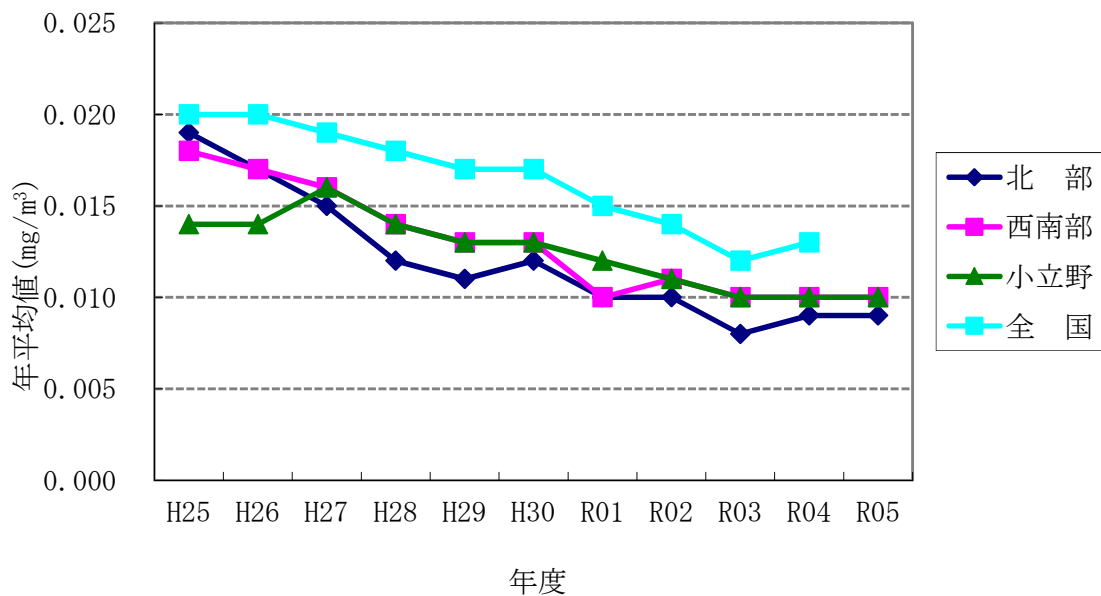


図 1 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

(2) 自排局

表2に示すとおり自排局の武蔵、片町、山科局の3測定局全てで長期的評価及び短期的評価による環境基準を達成した。

年平均値は、図2に示すとおり過去10年間に於いて緩やかな減少傾向にあり、全国平均と比較しても同程度である。

表2 自排局における浮遊粒子状物質の年間測定結果

測定局	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1日平均値の年間2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	1日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )
武蔵	362	8713	0.010	0.023	0.033	0.064
片町	362	8699	0.014	0.032	0.038	0.175
山科	362	8714	0.010	0.023	0.032	0.062
本市平均			0.011	0.026		
全国平均 (R04)			0.014			
環境基準				0.10以下 (長期)	0.10以下 (短期)	0.20以下 (短期)

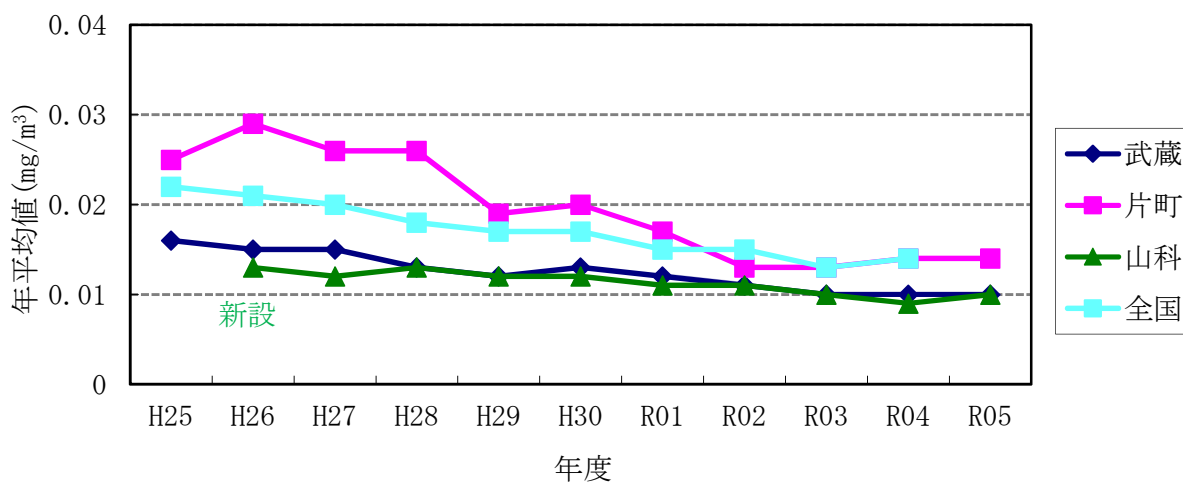


図2 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化